



令和4年 鎌ヶ谷市議会定例会9月会議報告

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」 (令和4年度2回分)を活用した15事業 (約4億円)の補正予算を含む議案を可決

9月会議は令和3年度決算の認定について審議しました。令和3年度決算は、新型コロナ対策や芝田市長の公約事業などに取り組む中で、本市にとって過去最高額の黒字となる約28億円の実質収支を確保するなど、今後の財政運営に繋がる決算となりました。また21件の議案が可決され、補正予算において新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、子育て世帯や事業者に対し様々な事業が実施されることとなりました。

●生活支援

【住民税均等割課税世帯への給付金】

住民税均等割のみ課税されている世帯に対し、1世帯あたり3万円を支給

【子育て世帯応援特別給付金】

中学生までの子ども1人あたり1万円を支給

●事業者への支援

【中小企業経営者支援給付金】

市内中小企業(約3,000事業者)へ1事業者あたり5万円を支給

【農業者経営支援給付金】

市内農業者(約250事業者)へ1事業者あたり5万円を支給

●給食費高騰対策

【学校給食賄材料費公費補填の拡充】

小中学校の学校給食費について既に1食あたり10円の公費補填を行っているが、さらに3%分を補填

【公私立保育所及び幼稚園給食賄材料費補填】

保護者の負担増を抑えるため、食材費の3%分を補填

●その他感染症対策など

【带状疱疹ワクチン接種費用の助成】

コロナ禍で感染拡大が不安視されている带状疱疹について、50歳以上の方が予防接種を行う場合の費用を一部助成

【PCR検査費用の助成】

保育施設、放課後児童クラブ、障害者支援施設等の児童・生徒・利用者の感染拡大を未然に防止するためPCR検査費用を助成

新型コロナウイルスワクチン接種状況！

10月2日時点での鎌ヶ谷市の接種率は、1回目が90.7%、2回目が90.3%、3回目が74.3%となっており、4回目は、60歳以上の市民の76.6%となっています。

国から、新たにオミクロン株対応ワクチン接種について通知があったことから、市では、必要な経費を補正予算に計上し、速やかに接種を開始するとしており、対象者は、2回目までの接種が完了した12歳以上の方となっています。市では、国からの情報に基づき、広報やホームページ、SNS等でお知らせするとともに、対象者には個別通知を順次送付しています。

— 令和3年度 鎌ヶ谷市一般会計決算について —

●決算状況の概要はどうか(一般会計)

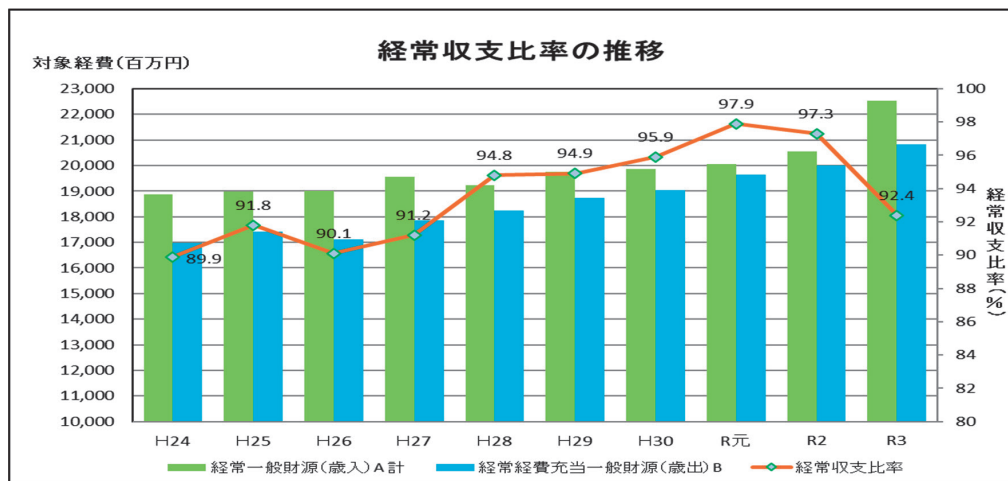
- A** 歳入決算総額(約 452 億円)から歳出決算総額(約 422 億円)、さらに翌年度に繰り越した事業に必要な財源(約 2 億円)を差し引いた実質収支は、約 28 億円の黒字となり、本市にとって過去最高額となりました。

●財政健全化法で定める決算状況の概要はどうか

- A** 実質公債費比率(毎年 of 借入金返済の状況)は4.7%、また将来負担比率(将来負担することとなる地方債などの市全体債務状況)は36.8%でいずれも低い水準となりました。

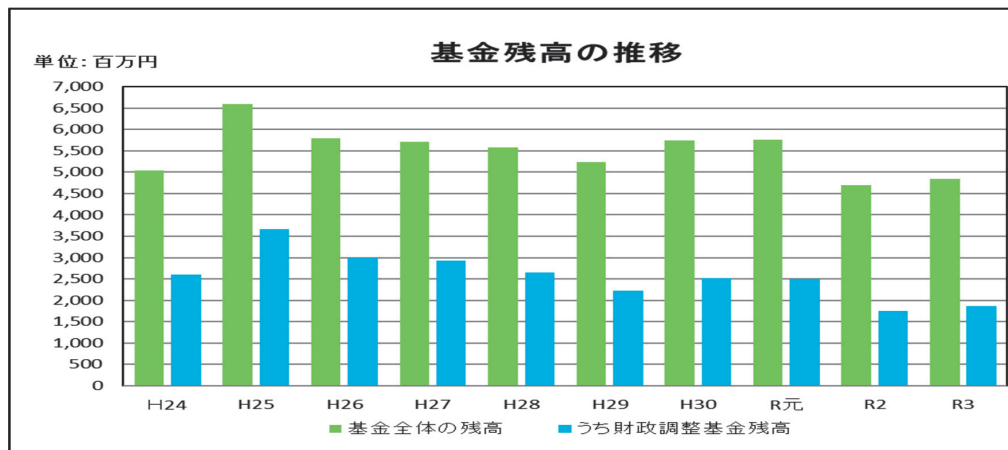
●財政構造の弾力性を示す経常収支比率の推移はどうか

- A** 経常収支比率は4.9ポイント改善した92.4%(県内で33位)



●基金(市の貯金)の推移はどうか

- A** 財政調整基金、減債基金等 9 種類の基金で約 48 億円を確保



令和3年度の決算の認定を終えて

令和3年度決算は、実質収支が約28億の黒字であり、財政健全化法で定める健全化判断比率も早期健全化基準をすべてクリアしましたが、財政調整基金残高は、市の数値目標をわずかに達成できませんでした。今後も、物価高騰や新型コロナの影響などを踏まえ、持続可能な財政運営を堅持するため、市議会としても注視してまいります。



勝又まさる — プロフィール —

議会所属委員会

● 教育福祉常任委員会 委員

● 議会運営委員会 委員

● 鎌ヶ谷市監査委員